

WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第12期第2四半期（中間期） 株主通信 Vol.16

2024年4月1日～2024年9月30日



新物流拠点「WIN Heart Gate」が
いよいよ稼働。大幅な効率アップで
働き方改革にもつなげます。

代表取締役社長 秋沢 英海

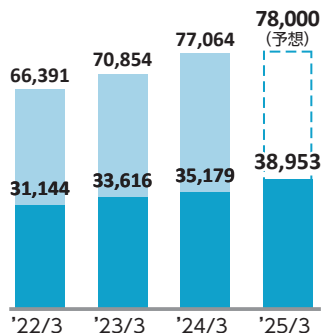
連結財務ハイライト

■ … 中間期 ■ … 通期

売上高

(単位：百万円)

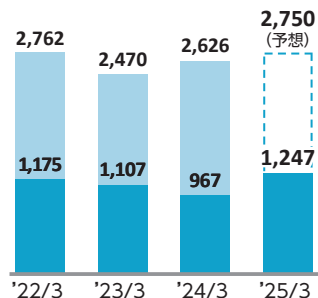
38,953 百万円 (前年同期比+10.7%)



営業利益

(単位：百万円)

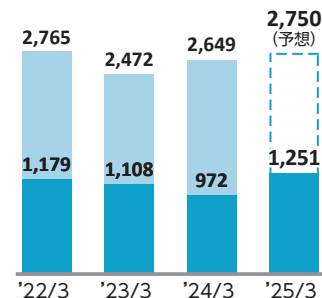
1,247 百万円 (前年同期比+29.0%)



経常利益

(単位：百万円)

1,251 百万円 (前年同期比+28.7%)



Q-1 当上期の経営成績と通期見通しについてご解説ください。

当上期の売上高は前年同期比10.7%増で過去最高となり、営業利益も同29.0%増と大幅に増加しました。分類別売上高では、注力分野である心臓律動管理関連（CRS）と心臓血管外科関連（CVS）が好調で、特にCRSでは市場拡大の続くアブレーションの症例数の増加などにより、販売数量は前年同期よりも大きく伸びました。

新型コロナウイルス感染症の影響が、医療現場全体や当社の主要顧客である大規模病院において

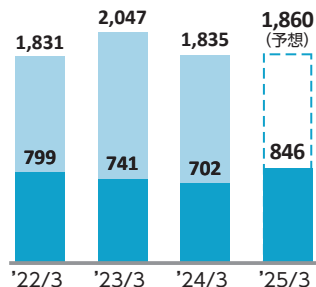
も低下し、手術の症例数がコロナ前に近い水準まで回復してきたこともあり、虚血性心疾患関連（PCI）など他の分類も概ね好調で、すべての分類で売上高が前年同期を上回りました。これは医療機関の経営環境が総じて厳しい状況が継続する中でも、常に顧客の成長を第一に考え、徹底的にサポートするという姿勢が従業員に浸透し、グループとしての地力が着実についてきたことの証だと考えています。

親会社株主に帰属する

当期純利益

(単位：百万円)

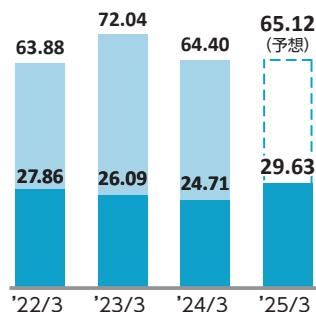
846百万円 (前年同期比+20.4%)



1株当たり当期純利益

(単位：円)

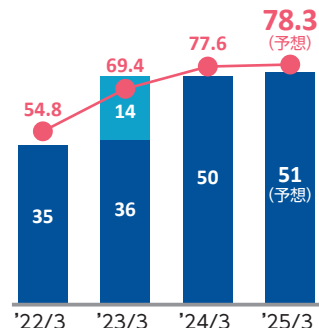
29.63円 (前年同期比+19.9%)



1株当たり配当金

■ 普通配当 (円) ■ 記念配当 (円)

● 配当性向 (%)



通期業績については、売上高が過去最高の780億円（前期比1.2%増）、営業利益が27.5億円（前期比4.7%増）と見込んでいます。下期にはCRS分野で有力な新商品の発売が予定されているほか、価格改定の浸透を図ることで、増収増益を達成できると考えています。



Q-2 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

当社は患者様の身体的負担が少ない「低侵襲医療」に特化した医療機器販売会社として、その普及とともに成長を続けてきました。「顧客の成長が当社の成長」という考え方を大切に、顧客である医療機関の課題解決と成長支援に力を入れていることも、大きな特徴です。今後も医療費削減という大きな社会の流れが変わることはなく、厳しい事業環境が続きそうですが、医療に対するニーズそのものは拡大を続ける見通しですし、医師の働

き方改革への対応や、DXやAIなどの新たな技術の活用といった社会的な課題に対しても、当社が貢献できる場面はさらに広がってくるとみています。

今後の成長に向けた具体的な戦略として、CRSやCVSといった成長市場に経営資源を積極投入するほか、顧客の課題解決や成長支援といったコンサルティング的な業務をさらに強化していきます。集患やコスト削減による収益改善や、DX活用による効率化、設備の更新や新規診療科開設など、幅

広い観点から顧客の成長につながる提案をしています。

直近の大きな動きとしては、新たな物流拠点「WIN Heart Gate」がトライアル運用を経て11月から稼働しました。今後、首都圏の各営業拠点での物流業務を徐々に集約するとともに、「ICタグ」という無線技術を利用した物品管理システムなどを取り入れ、業務の大幅な効率化を実現します。これまで何時間もかかっていた棚卸作業が数十分で終わるため、営業員が顧客への提案営業により注力できるとともに、働き方改革にも大いに貢献してくれるとみています。さらにこのICタグに収められた情報は医療機関に利用してもらうことも可能で、顧客側の物品管理や発注といった作業にかかる負担も大幅に軽減することができます。すでに複数の医療機関から引き合いをいただいております。今後、このICタグを活用した物販管理システムは当社グループの大きな強みになると期待しています。

中長期的な成長に向け、人材育成も重視しています。従業員教育には以前から力を入れてきましたが、今後の成長を見据え、分野別研修やセッションをまたいだ社員同士の勉強会など、精緻かつ体系的な教育体制を整えています。その中で私が何

よりも重視しているのが、単に知識を身につけるのではなく「顧客の成長が当社の成長」という考え方をすべての従業員に浸透させることです。顧客である医療機関はもちろん、仕入れ先である医療機器メーカーなどあらゆるステークホルダーが成長することで当社も適正な利益をいただき、成長していけるのだということを説き続けています。

多様な人材に長期にわたって活躍してもらえよう、従業員の働きやすさ向上も積極的に進めていきます。男性の育休取得率など、いくつかKPIを定めたいうえで、年度ごとに目標を設定し進捗の管理をしています。



Q-3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期末の配当金につきましては、前期末比1円増となる1株当たり51円とさせていただく予定です。今後も可能な限り高水準の配当を継続的に実施したいと考えており、それに見合うだけの利益をしっかりと確保していくことに努めてまいります。

当社の株式市場における認知度、存在感はまだ十分ではないと感じています。今後も個人投資家向けの説明会などを積極的に開催し、「顧客の

成長が当社の成長」という当社の考え方と、それに基づいた事業戦略を丁寧にご説明していくことで、より多くの方を当社の株主としてお迎えしたいと願っております。そして、株主様のご期待に沿えるよう、安定した成長を続けていきたいと考えております。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

資産の部

	前連結会計年度 2024年3月31日	当中間連結会計期間 2024年9月30日
流動資産	42,083	36,102
現金及び預金	18,160	15,850
受取手形及び売掛金	20,297	16,888
商品	2,702	3,003
その他	923	360
固定資産	5,646	7,749
有形固定資産	4,254	4,331
無形固定資産	376	386
投資その他の資産	1,016	3,032
資産合計	47,729	43,852

負債の部

流動負債	23,069	19,748
支払手形及び買掛金	21,255	18,499
その他	1,813	1,249
固定負債	1,275	1,310
負債合計	24,344	21,058

純資産の部

株主資本	23,291	22,710
資本金	550	550
資本剰余金	2,364	2,364
利益剰余金	21,155	20,573
自己株式	△777	△777
その他の包括利益累計額	93	83
純資産合計	23,385	22,793
負債純資産合計	47,729	43,852

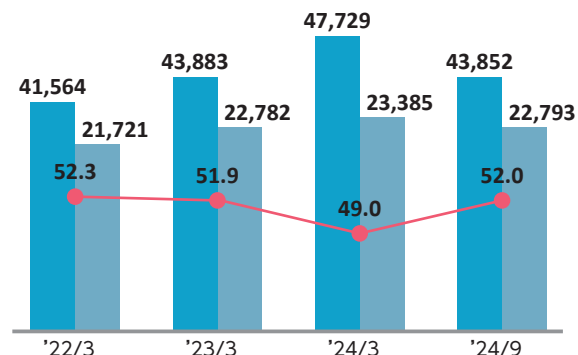
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,171	1,348
投資活動による キャッシュ・フロー	0	△2,220
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,445	△1,428
現金及び 現金同等物の期首残高	11,771	13,150
現金及び現金同等物の 中間期末残高	11,499	10,850

総資産／純資産／自己資本比率

■総資産(百万円) ■純資産(百万円) ●自己資本比率(%)



Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少が2,756百万円あった一方、売上債権の減少が3,408百万円、税金等調整前中間純利益が1,250百万円あったこと等により1,348百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の取得による支出が1,999百万円、有形固定資産の取得による支出が196百万円あったこと等により2,220百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金の支払が1,428百万円あったこと等により1,428百万円の支出となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
売上高	35,179	38,953
売上原価	30,835	34,219
売上総利益	4,343	4,733
販売費及び一般管理費	3,376	3,486
営業利益	967	1,247
営業外損益	4	3
経常利益	972	1,251
特別損益	69	0
税金等調整前中間純利益	1,041	1,250
法人税等	338	404
中間純利益	702	846
親会社株主に帰属する 中間純利益	702	846

連結包括利益計算書
(要旨)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
中間純利益	702	846
その他の包括利益	1	△9
中間包括利益	704	836

Point

医療機器の販売はもとより、医療の質向上や競争力強化を総合的に支援する病院の課題解決支援や適正使用支援など、顧客の環境の変化に的確に対応した付加価値の高い提案を行い、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めたことで増収増益となりました。

主要分類別売上概況

● 心臓律動管理関連 (CRS)

不整脈の治療で使用するEPアブレーション関連商品や植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)ペースメーカーの販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は10,258百万円となりました。



取扱製品例：
植込型除細動器
(ICD)

前年同期比 **+11.4%**

● 虚血性心疾患関連 (PCI)

集患支援の提案を積極的に行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。その結果、主力商品であるPTCAバルーンカテーテルや血管内超音波(IVUS)診断カテーテルの販売数量が伸長したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は9,008百万円となりました。



取扱製品例：
PTCAバルーンカテーテル

前年同期比 **+8.7%**

13.7%

その他

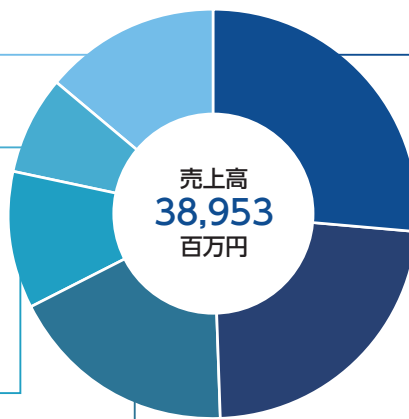
7.7%

医療機器関連

10.9%

末梢血管疾患関連 (PPI)
及び脳外科関連

分類別売上高構成比



26.4%

心臓律動管理関連 (CRS)

23.1%

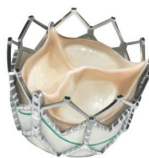
虚血性心疾患関連 (PCI)

18.2%

心臓血管外科関連 (CVS)

● 心臓血管外科関連 (CVS)

経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) やステントグラフト関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は7,099百万円となりました。



取扱製品例：
TAVI用生体弁

前年同期比 **+15.3%**

● 医療機器関連

医療施設の新築・増改築及び医療機器の更新情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行ったこと等により、医療機器関連の売上高は3,010百万円となりました。



取扱製品例：
移動式X線撮影装置

前年同期比 **+5.9%**

● 末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術で使用されるPTAバルーンカテーテルの販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は4,244百万円となりました。



取扱製品例：
PTAバルーンカテーテル

前年同期比 **+7.6%**

● その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長したこと等により、その他の売上高は5,331百万円となりました。



取扱製品例：
インスリンポンプ

前年同期比 **+12.5%**

ウイン・パートナーズグループの人材活躍サポート

今年9月、ウイン・パートナーズ、事業子会社であるウイン・インターナショナル及びテスコは、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受け、「くるみんマーク」を取得いたしました。

「くるみん認定」は、次世代育成支援対策推進法に基づき一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し一定の基準を満たした企業が受けることができます。

主な取り組みとして、育児短時間勤務制度や看護・介護休暇など柔軟な働き方を可能にする制度の充実、仕事と家庭を両立できるような環境の整備、また女性営業職の就業継続支援や産休・育休取得者の円滑な復帰をサポートする体制を整えています。

さらに多様な人材が活躍できるダイバーシティ推進の一環として、現在全体のおよそ3割を占める女性社員の活躍推進にも力を入れており、女性役員の登用や管理職の増加を目指し、女性のキャリア形成を支援する取り組みも行っています。

これらの取り組みを通じて、当社グループは社員がいきいきと働ける環境を提供し、サステナブルな企業活動と企業価値の向上を図ります。これからも株主や投資家の皆様に持続可能な成長を実現する企業としてご注目いただけるよう努めてまいります。



会社概要

(2024年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社 株式会社エムシーアイ 株式会社トーセイメディカル 株式会社トライテック
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	634名（連結）

役員

(2024年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	松本 啓二
社外取締役	井出 健治郎
社外取締役	高村 悦子
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) ※は、監査等委員

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式の総数	30,503,310 株
株主数	15,581 名

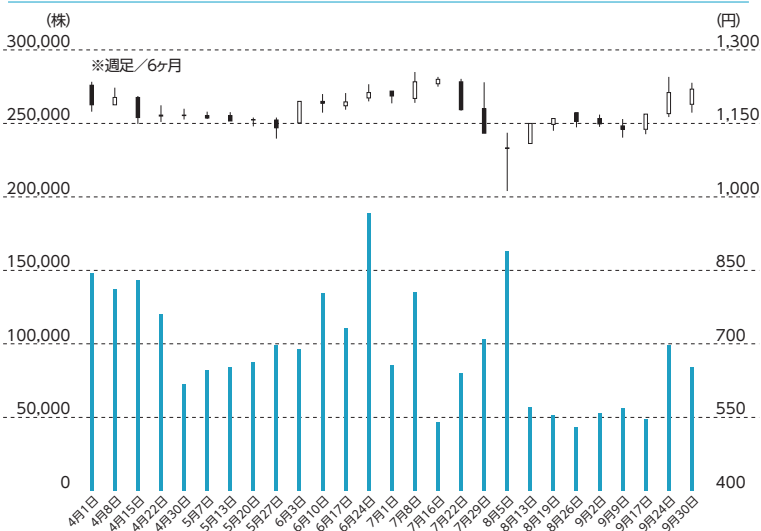
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	5,500,000	19.28
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	2,044,987	7.16
株式会社キエマ企画	1,891,000	6.62
秋田裕二	1,715,690	6.01
グリーンホスピタルサプライ株式会社	1,600,000	5.60

(注) 持株比率は自己株式1,944,074株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2024年4月～9月)



IRカレンダー



株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当金 3月31日

公告方法 電子公告
<https://www.win-partners.co.jp/koukoku/>
やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に
掲載いたします。

株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒104-0031
東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン21階
TEL : 03-3548-0790

<https://www.win-partners.co.jp>



ホームページは
こちらから



WINはQOL推進企業です

